

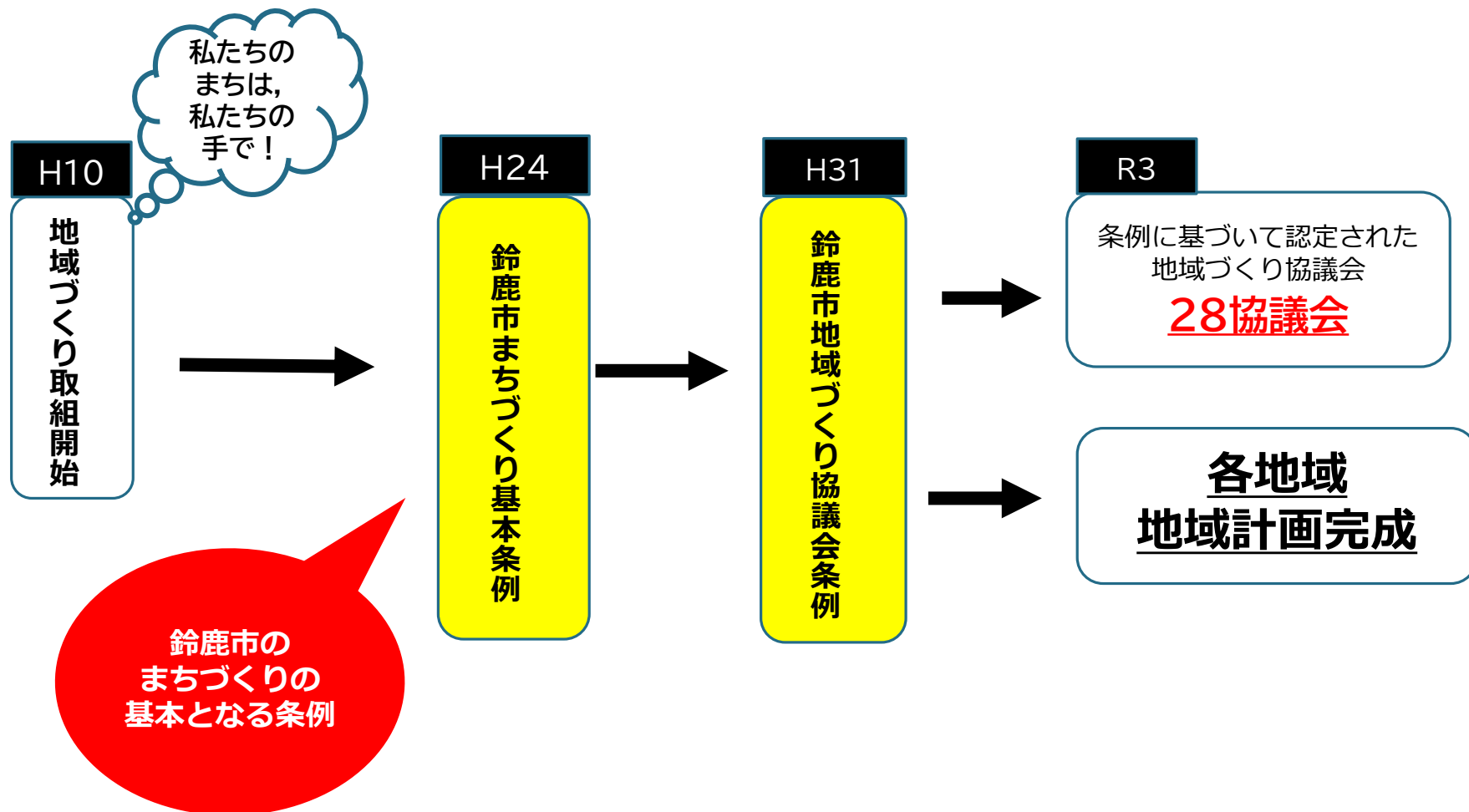
鈴鹿市の地域づくりについて

地域協働課

目次

- 本市の地域づくりについて
- 地域づくり協議会について
- 地域の取組について

本市の地域づくりの移り変わり



地域づくりに関する条例

鈴鹿市 まちづくり 基本条例

平成24年施行
鈴鹿市のまちづくりの方針を定めた理念条例。
まちづくりの基本原則をはじめ、
市民参画などについても謳っている。

鈴鹿市 地域づくり 協議会条例

平成31年施行
鈴鹿市まちづくり基本条例第14条に基づき施行。
地域づくり協議会と市が協働して地域づくりを行う
ものと謳っている。

本市の地域づくり

総合計画2023
基本構想の中で
市と地域づくり協議会は
協働でまちづくりを行うことを
謳っています。



地域づくりを進める地域の代表団体

名称

地域づくり協議会

構成員

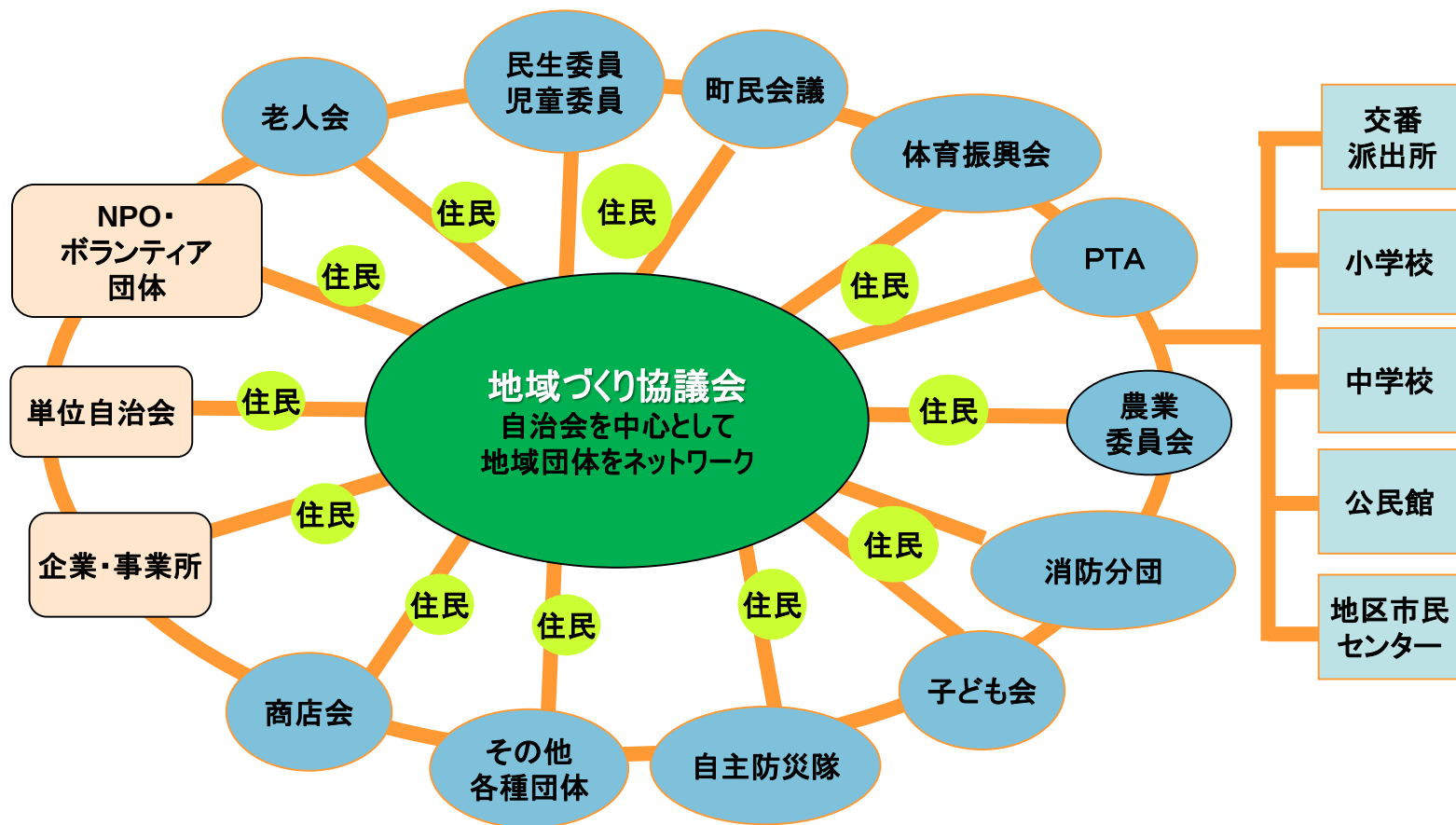
◆加入脱退の概念なし。

◆その地域で居住または活動している人や団体の他，地域に関わりを持つ人や団体。

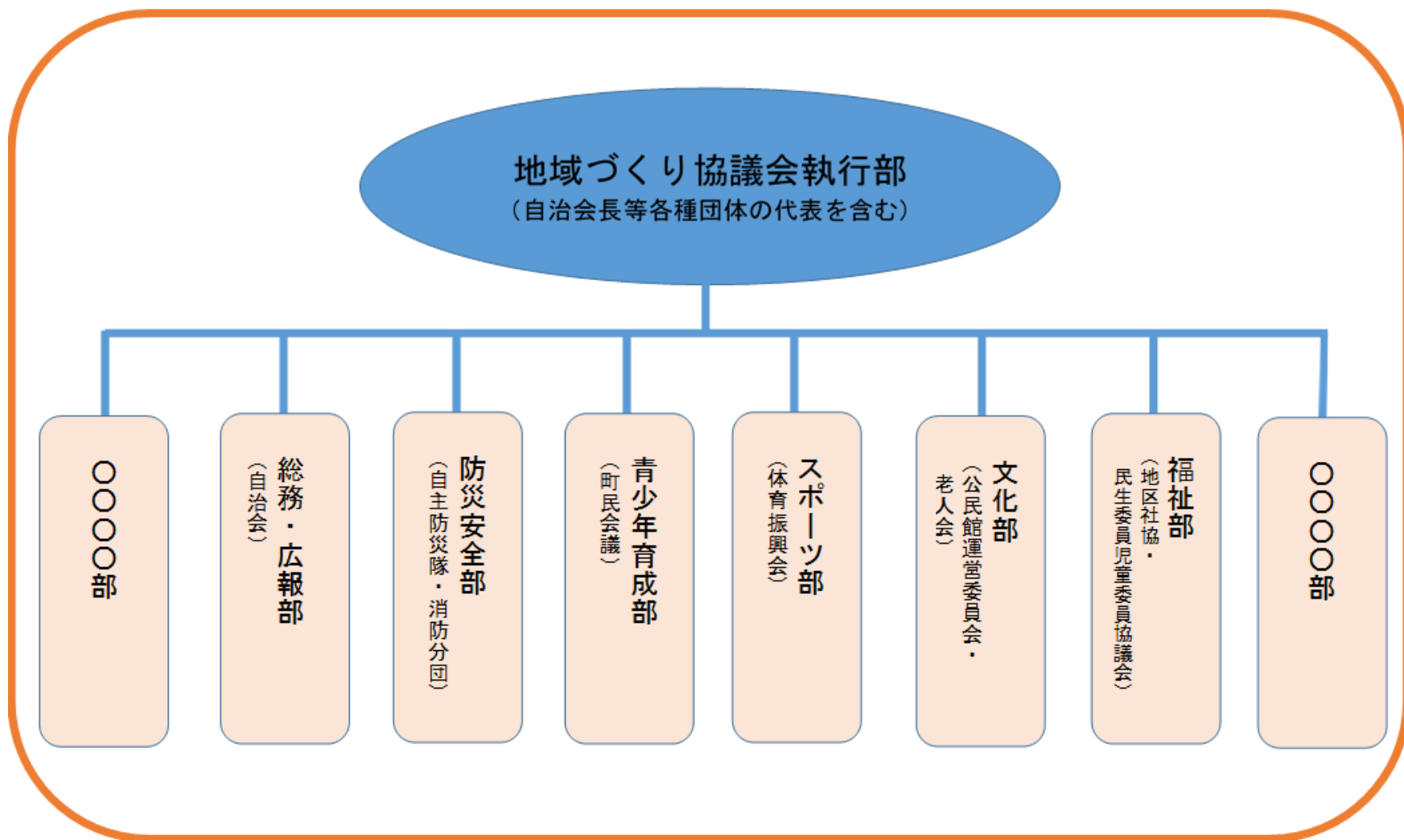
区域

◆小学校区または地区市民センター所管区域

地域づくり協議会



◇地域づくり協議会 組織イメージ



28地域づくり協議会

- ◇ 国府地区まちづくり協議会
- ◇ 庄野地区まちづくり協議会
- ◇ 加佐登地区まちづくり協議会
- ◇ 牧田地区地域づくり協議会
- ◇ 石薬師地区明るいまちづくり協議会
- ◇ 白子地域づくり協議会
- ◇ 旭が丘地区まちづくり協議会
- ◇ 鼓ヶ浦地区まちづくり協議会
- ◇ 夢ある稻生まちづくり協議会
- ◇ 飯野地区地域づくり協議会
- ◇ 河曲地区地域づくり協議会
- ◇ 一ノ宮地域づくり協議会
- ◇ 長太地区まちづくり協議会
- ◇ 和の街箕田地域づくり協議会

- ◇ 玉桜まちづくり協議会
- ◇ 愛宕地域づくり協議会
- ◇ 若松地域づくり協議会
- ◇ 神戸まちづくり協議会
- ◇ 栄地区地域づくり協議会
- ◇ 郡山まちづくり協議会
- ◇ 天名まちづくり協議会
- ◇ 合川地区地域づくり協議会
- ◇ マイタウン井田川まちづくり委員会
- ◇ 久間田地域づくり協議会
- ◇ 椿地区まちづくり協議会
- ◇ 深伊沢地域づくり協議会
- ◇ 鈴峰地区地域づくり協議会
- ◇ 庄内地区地域づくり協議会

※各地域づくり協議会では、専門部会等をつくり
それぞれの地域の課題解決に向けた地域活動をされています。

地域計画について

地域計画 とは

住みよい地域をつくるために、**地域住民自らが立てた計画**です。地域の課題や宝物を整理しながら、「住みよい地域」とはなにかを考え、意見交換を行い、地域で取組む課題の解決方法や地域を元気にする方法などをまとめ、見える化した**地域づくりの指針**となるものです。

期間

**令和2年4月
～令和6年3月**

(総合計画2023の後期と一致)
※市ホームページに掲載



地域づくり協議会の取組み

事例紹介

- ◇小学校登下校時見守り
- ◇環境美化活動
- ◇防災避難所マップ作成
- ◇地域づくり協議会ロゴマーク
イメージキャラクター等作成
(子ども, 学生対象に募集)
- ◇生活福祉お助け隊
- ◇高校生とコラボによる地域活性化



など

広報すずか
SUZUKA

令和3年(2021年)
3/5
No.1575

特集 つながりを大切に
進めよう!地域づくり

表紙写真
コロナ禍でも児童が安心して学校生活を送れるように、自主的に小学校の消毒活動を行っている吉松地域づくり協議会の皆さん。大変なときだからこそ、地域でつながり、力を合わせる大切さです。

P.6 情報館1 新型コロナウイルス ワクチン接種
P.7 情報館2 狂犬病予防注射
P.8 情報館3 119番三者間同時通訳
P.9 情報館4 多文化共生
P.10 情報館5 軽自動車税(種別割)

P.11 情報館6 国道23号夜間交通規制
P.12 元気なすずか 情報局 お知らせ・催し物
P.23 ひろげよう人権尊重の輪

さあ、鈴鹿。
さっさと
もっとうごけ

つながりを大切に 進めよう!地域づくり

本市では、住みよいまちを目指して、地域づくりに力を入れています。みんなで力を合わせ、20年後も、30年後も元気で住みよいまちをつくりましょう。



地 域づくりとは、子どもから高齢者まで、いつまでも笑顔で暮らせる住みよいまちをつくるため、住民の皆さんがそれぞれの特性を生かして、知恵と工夫をもって「お互いさま」の気持ちで取り組む活動です。

そして、住民自らが地域の課題や宝物を「見える化」するとともに、対策を考え、課題解決に取り組むための指針として、各地域づくり協議会によって策定されたのが「地域計画」です。

令和2年度～5年度にかけて、この地域計画に基づき、さまざまな検討や取り組みが行われています。



▲各地域づくり協議会が作成した「地域計画」



詳しくは、市ホームページ▶

互いにつながり、支え合う仕組みの「地域づくり協議会」

地域づくり協議会って?

地域づくり協議会とは、住民、自治会やボランティア、PTAなどの団体で構成され、相互の連携や話し合いなどにより、地域課題の解決を図る団体です。



つながる！地域づくりを紹介します

新型コロナウイルス感染症の影響で制限はあるものの、「できることから地域づくりを」との思いで活動されている地域の皆さん。その中で「つながり」を大切にしている活動を紹介します。

深伊沢 地域内が「つながる！」 「わらアート」



▲わらアート制作中の様子
▲「わらベン」(深澤町)

複数の小学校区にまたがる深伊沢地域。地域内住民のつながりを深めようと始めたのが、わらアートです。

深伊沢地域では以前から休耕田を活用した地域米を作っており、その稲わらを使って、子どもたちと一緒に制作したのが、4mを超えるわらアートのペンギン「わらベン」。

制作にあたっては、「知恵と力を出し合おう」というスローガンのもと、ノートで参加者同士の思いや進捗状況を共有し、意欲やつながりが途絶えないように工夫。住民同士の交流のきっかけとなりました。

たくさんの取材を受けるなど、注目された「わらベン」。今では地域の自慢です。

今回の取り組みは、大きなこともたくさんありましたが、何ものにも代えがたい「地域愛」へとつながりました。今後も、「和」「絆」の3つの「わ」を大切に、その「わ」が広がる活動へ発展させたいと考えています。



深伊沢地域づくり協議会
あづま かずひろ
名村 一宏 会長

庄内・椿 地域と地域が「つながる！」 「お出かけ支援サービス」



▲お出かけ支援に使っている車両 ▲ロゴマーク

運転免許の返納などにより、移動手段がなくなったことで、買い物や病院に行けない。そんな問題が地域的な課題としてあった庄内地区と椿地区。

問題解決のために始めたのが「お出かけ支援サービス」です。サービスの実施にあたっては、ボランティア人材や車いすも利用できる車両が必要でしたが、両地区が協力することで、人材と資金の確保ができました。

事業がスタートした昨年の12月以降、地域の高齢者の皆さんの新たな移動手段として活用されています。

免許返納や身体的な理由で移動が困難な方の買い物や通院が課題でした。解決へ向けた1歩目が踏み出せて良かったです。

今回実現した移動のお手伝い同様、今後も生活の中で生まれる小さな声を的確につかみ、必要性を迅速に判断し、行動したいと思います。



椿地区まちづくり協議会
あづま ひろし
三浦 均 会長



庄内地区地域づくり協議会
あづま いしづか
大石 徹也 会長

加佐登 地域と学校が「つながる！」 「加佐登地区まちづくり協議会 活性化プロジェクト」



▲取材の様子(左:しめ縄教室、右:かんこ踊り)

白鳥塚古墳やかんこ踊りなどの伝統的な文化や史跡が多くある加佐登地区。地域の皆さんに地域のことをより一層知ってもらうため、神戸高校放送部と協働して、これらの史跡や伝統行事の映像作品の制作に取り組んでいます。

活動を通じて、高校生の若い感性に触れ、地域の皆さんも刺激を受けています。3年後の完成が楽しみです。

神戸高校放送部の皆さんと協働しながら、加佐登地区の歴史遺産や地域活動を市内の皆さんへ伝えていきたいと思っています。



加佐登地区まちづくり協議会
長谷川 俊男 会長

プロジェクトを通して、加佐登地区の皆さんの「地域愛」をとても感じました。温かい皆さんと私たちだからこそできるまちづくりで、地域を盛り上げていきたいです。



神戸高校 放送部
打田 羽麗さん

庄野 地域と法人が「つながる！」 「ささえあいま庄野」



▲付き添い支援サービスで使用するバスとボランティアの方

地区内に住む高齢者の皆さんが安心して暮らすため、ちょっとした困りごとを助け合う取り組みを行う庄野地区。

その取り組みの1つが「付き添い支援サービス」です。運転免許の返納などで買い物や通院ができないなどの困りごとを解決するため、介護老人保健施設「鈴の丘」からバスの利用提供を受け、外出の付き添いを行っています。

将来的には、お田里の高齢者に近隣の支援者が気軽に声を掛けられる体制を目指したいと思います。



庄野地区まちづくり協議会
あづま よしひろ
福社 郁子 会長

買い物や通院のお手伝いだけでなく、健康状態の確認や安否確認、生きがいづくりなどもお手伝いさせていただきます。



医療法人 白鳳会 鈴の丘

長らくコロナ禍において、市民の皆様には「新しい生活様式」を取り入れながらの地域づくり活動を進めていただいていることに感謝を申し上げます。私たち行政も協働のパートナーとして地域においての課題を共有しながら、地域づくり協議会と共に課題解決に向けて行動してまいります。今後も引き続き、地域と行政のつながりを大切に、お互いの理解を深め、信頼関係を築いてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



鈴鹿市長 末松 則子

今回の特集へのご意見・ご感想は地域協働課
☎ 382-8695 ☎ 382-2214 ✉ chilikikyodo@city.suzuka.lg.jp